



## いじめについて考える週間

6月7日(月)から13日(日)は「いじめについて考える週間」になっています。人は一人ひとり違います。体格、顔、髪などの外見だけでなく、好きなことや得意なこと、性格や考え方などの内面も、誰一人同じ人はいないのです。

2日(水)の授業参観、学級懇談は中止になりましたが、予定していた道徳「りんごの色」の授業は行いました。性的少数者への差別や偏見をもたないことをねらいとした内容です。「りんごの中にもいろいろな色が混じってる」「赤だと思っ込んでいる人には“ただの赤”にしか見えない」「あのりんごもそのりんごも本当は全く違う色をしている」「人もみんなそうなんじゃないかと思う」という言葉が印象に残りました。

## 生徒総会

4日(金)の6時間目に生徒総会が行われました。執行委員会のメンバー、各専門委員会の委員長、各部の部長がしっかりと準備をし、議長の2人がスムーズな進行をしてくれました。説明



したり質問に答えたりする態度は、大変立派でした。

「3年生の活躍の場があり、手本となるその姿を見て1、2年生が成長する。そして、それが船穂中学校の伝統になっていく。」コロナ禍であっても、この流れは絶やしたくないと改めて思いました。

## 6月は食育月間です

「食育」とは「食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、一生を通じて健康的な食生活を送れるようにすること」です。私たちが毎日食べている給食は、成長期の中学生に必要な栄養やカロリーをバランス良く取ることができるようになっています。

日本には「作ってくれた人への感謝」と「犠牲になった命への感謝」の意味がある「いただきます」という言葉があります。日本で、食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の量は年間600万トンという現実を知り、食べ物を大切にするとともに、中学生の今こそ健康的な体を作るときだと意識してもらいたいです。



【ワラ-クラブ 兼美術部の作品】

### 「私と小鳥と鈴と」

金子みすゞ

私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように、  
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。

船穂中だより第6号で、緊急事態宣言下の部活動についてお知らせしましたが、文化部についても、14日(月)からは運動部と同じ扱いとします。ご理解、ご協力ください。